

11月13日～16日に行われて第55回マカオグランプリレースレポートを送らせてもらいます。

55回もの歴史あるマカオグランプリ。各国の代表者が一同に集い市街地を走り世界一のF3使いを決めるマカオグランプリ。

僕は初めての海外レース参戦となりました。

チームは以前日本でも大活躍をしたパオロモンティーン選手がかつてドライブしていたチーム。

オンブラレーシングからダラーラF308無限ホンダエンジンで参戦をしました。

また今回は香港に拠点を置くPTRS様ともジョイントをして参加することになりました。

国内外を問わずに僕が走るために協力してくれた方々に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



昨年度直接この目で見てから目指すところはマカオグランプリと決めていたため今回参戦できることになり本当に嬉しく思っています。

また参戦にあたりたくさんのスポンサー様にご協力していただき今回の参戦が決まりました。

13日プラクティス&クオリファイ

プラクティス

まずはマシンのチェックとコースのチェックを行い、ノークラッシュを目標にプラクティスは周回数を重ねていきました。

とにかくコース幅はとても狭くてほんの少しのミスも許されない状況をすぐに感じる事が出来ました。

また今シーズンナショナルクラスをドライブしていたものの、308仕様のマシンはとてもエンジンパワーがありびっくりしました。

まずはそこに慣れることから始まりました。

ましのフィーリングは悪くなくプラクティスはピットインをせずにマシンとコースに慣れることを最優先に進めていきます。

思っていた以上にサーキットのアップダウン、バンピング、グリップなど驚かされる事が本当にたくさんあったプラクティスとなりました。

クオリファイ

午後から行われたクオリファイではコースイン早々にプラクティスのタイムを大幅に縮める事が出来て周回数を重ねていきます。

どこのコーナーが速くなったかというよりも全体的にレベルアップをしたという感じで、1周6キロ弱のサーキットになると秒単位でタイムを縮めていく事が出来ました。

サーキットに慣れてきたセッション終了4分前のところでこの日一番のプッシュをして前半区間をクリアしていきます。

ここまでにベストタイムを1秒縮めての走行となります。

しかし学校前コーナーでオーバースピードでクラッシュをしてしまいました。



ここで後ろからも追突をされてしまいこれでセッションを終了となりました。  
しかし自分自身徐々にレベルアップをしながらの攻撃だったので悔いはありませんでした。

#### 14日クオリファイ&プラクティス

##### プラクティス

午前のプラクティスは前日のクラッシュ後のためマシンの確認と前日にエンジンのオイル系の問題によりエンジンを乗せ変えたためフィーリングチェックをしました。

しかし赤旗などがとても多くなかなか思ったように周回数をクリアすることが出来ません。

しかし自分自身攻めれるポイントとそうでないポイントをしっかりデータで分かっていたためポイントを絞って練習走行を行いました。

データロガーからは海側の高速セクションは悪くないけれど、山側のセクションでロスをしていることが分かったため山側に重点を置き走ることにしました。

とくにフランススコナーを登ったあとのブレーキングがポイントでした。

少しGが残りながらのブレーキングのためなかなか不安などもあり少しずつ詰めていくことが出来ません。

しかし午後のクオリファイに向けて自分自身の気持ちを高めていきます。

##### クオリファイ

午後から行われたクオリファイでは左側に2本だけニュータイヤにしてウォームアップをして終わり次第4本ニュータイヤにする作戦を取りコースインをしていきます。

左側2本を新品にしたことによって海側の高速コーナーのフィーリングはとても良かったです。

特に横浜タイヤの特性を生かして旋回スピードを上げる走りをする事が出来ました。

山側に関しては若干のアンダーステアになってしまうものの大きな変化は無く周回を重ねようとした時に、アンラッキーなことに2速ギアが破損してしまいクオリファイの序盤でストップしてしまいました。

しかしストップしたコーナーで多くのドライバーの攻撃を見ることが出来て良い勉強をすることが出来ました。

この日一日赤旗とトラブルで思うように走ることが出来ませんでした。

しかしこれもマカオなんだなと感じた一日となりました。

#### 15日予選レース17位

この日は予選レースが行われました。前の日にエンジン交換を行ったため予選順位から10番グリッド降格になったため最後尾からスタートすることになりました。

しかし最後尾ということを生かして波乱を回避してとにかくチェッカーを目指すことにしてスタートしました。



スタートも成功して数台をパスして1コーナーであるリスボアコーナーに向かいます。ここで前方でクラッシュがあったため避けようと内側に行ったのですが縁石に乗り上げてしまいストップしてしまいます。

しかしここでマシンを降りることなくオフィシャルに押し出してもらい再スタートをすることが出来ました。

クラッシュが多発したためSCランになった間に隊列の最後尾に復帰することが出来ました。

リススタートも問題なくスタートをしていき前方のマシンの動きなどを見ながら自分に足りないところなども見つけながらの走行となりました。

しかし学校前コーナーで最後前方のマシンがクラッシュしたことによって行き場を失い前方の集団からは大きく遅れをとってしまい単独での走行となってしまいました。

クラッシュやSCランなどもありまとまるとも走れた周回数はとても少なかったものの徐々にマシンにも慣れてきたため、マシンのセッティング変更をしたいと思うところまで予選レースでたどり着くことが出来ました。

他のドライバーから比べたら段階がとても遅いかもかもしれませんが、今回の目標は順位ではなく自分自身スキルアップと自分自身に足りないところを見つけることが目標だったので予選レースをしっかりとゴールできて順位がついたことはとても良かったと思っています。

またこの予選レースからブレーキパッドを違う種類のものにした結果ブレーキングを少しずつ詰めることが出来るようになりマシンの動きにも変化が出てきて決勝に向けて準備を整えていきます。



## 16日決勝レース リタイア

### ウォームアップ

朝のウォームアップでは前日の予選レースの結果からアンダーステア傾向が強くなっていたので対策を行いました。

決勝レースで路面コンディションが良くなればもっとアンダーステア路面になることが分かっていたためです。

その結果フロントのフィーリングが良くなり午後の決勝レースに向けて準備を整えます。

ブレーキのタッチも良くなったためタイムも少しずつ詰めることが出来ました。



### 決勝

F3レース前のレースでクラッシュが続出してオイル処理などしている箇所がとても多くトラックコンディションはとても悪い中での決勝レースとなりました。

迎えた決勝レース。スタートはまたしても成功をして何台かパスをしてリスボアコーナーに入ります。ここでも予選レース同様にクラッシュが前方でありこれをうまく回避することが出来てオープニングラップを12位で通過することが出来ました。

その後はこのクラッシュによりSCランとなります。

今回はトップが見える位置でのレースのためリスタートにタイミングの駆け引きなどをまじかで見ることが出来ました。リスタート後スリップストリームを使われてしまい1つポジションを落としてしまいます。

しかし前方のマシンについていこうとしていたため山側区間のタイムを詰めることが出来て周回を重ねていきます。

やはりトラックコンディションは悪く、フロントがやわらかくてリアが硬いセッティングしていたためオーバーステアが若干ありながらの走行となりました。

しかし山側の区間ではダウンフォースを生かして走る区間では後方とのギャップを開くことが出来ました。

しかしレースもこれからというところで滑りやすい路面にあしを取られてしまいスピンしてしまいました。

その際に左後ろのロアームが折れてしまいレースを諦めることになってしまいました。

さーこれからだという時にほんの少しのミスでこのような結果になってしまい本当に悔しく思います。しかしこれもマカオの難しさであると痛感しました。

今回は初めてのマシン、初めての市街地と初めてのことだらけでしたが日本にいてはとても体験することが出来ないことをたくさん経験することが出来ました。

また自分には足りないものをたくさん発見することが出来てこれからのレース人生、私生活においても多くのことを吸収することが出来たマカオグランプリとなりました。

そして僕が本当に目指すところはマカオだということを再認識しました。

また来年必ずマカオに帰ろうと思いました。

今回は参戦することが土壇場に決まったにもかかわらずたくさんの方にスポンサー、応援をして頂き本当に嬉しく思っています。

今回は国内国外を問わずにたくさんの方がバックアップしてくださって走ることが出来ました。

またマカオまで応援に来ていただいたスポンサー様方本当にありがとうございました。

来年度も必ずマカオに帰れるようシーズンオフを全力ですごしたいと思っています。

これで今年のレース日程がすべて終了となりました。

一年間応援ありがとうございました。

来年度もサーキットでお会いできることを楽しみにしています。

